

横浜市戸塚区民文化センター さくらプラザ 情報誌

# SAKURA

10周年からその先へ ずっと続く文化芸術

Since 2013



Vol.62  
9・10月号



## 秋晴れの爽やかな空を感じて

== INDEX ==

**Pick Up Artist**

**福井 敬** (テノール)

**さくらプラザ 自主事業レポート**

前橋 汀子 珠玉の名曲集 2023 in 戸塚  
さくらプラザ特待生 2022年度 活動レポート

**連載**

子ども × 文化芸術 × 私たちの暮らす街  
WA! 育つ! 育てる! / 小田直弥  
10周年記念スペシャル User's Voice  
人は皆 背中で語る…見返戸塚人



Web版





声楽家 テノール

## 福井 敬

～輝く美声がさくらプラザ・ホールを包み込む～

感染症の影響で2020年に中止となった福井 敬さんのテノールリサイタルを、2023年10月7日(土)に、さくらプラザ開館10周年記念公演として開催いたします。日本が世界に誇る声楽家 福井さんに、クラシック音楽やオペラの魅力、さくらプラザ公演のプログラムや聴きどころについて伺いました。



### どのような学生時代でしたか？

音楽大学というところは一般大学とは少し違ってまして、「音楽」という同じ目標に向かって、同じ意識を持った人間が一挙に集まってくる大学ですから、学生同士で話が通じ、高校生までにはなかった感覚で「音楽大学って面白いところだな」とすごく思いました。私はとにかく「歌う」ということが好きだったので、毎日何か歌っていて、先輩や友達が集まると「この音出る？」なんて言いながら遊びで出し合いっこしていました。図書館など学問的なアプローチもすごく充実していましたし、サークルの合唱団に所属して演奏会や夏に演奏旅行を行うなどの活動を含めて、いろんな音楽や歌うことに関わる経験をたくさんできたので、私にとっては本当に魅力的な大学であったと思います。

### イタリア留学時代についてお聞かせください。

私は語学が苦手な、イタリアに行く時も一応語学学校には通いましたが、ほとんど何もわからない状態で済みました。それでも、そんなことが気にならないくらい、イタリアの人たちは陽気で気さくに接してくれました。住んでいたミラノという街には、世界的に有名なスカラ座というオペラ劇場があり、世界の超一流の方々が集ってオペラを上演していました。ヨーロッパでは主な都市に必ず劇場やオーケストラがあり、

街の人たちの生活の一部になっていて、毎日と言っていいほど公演があり、ちょっとお洒落をしてそこに行くことが文化としてあります。常に人々の身近にオペラがあることが日本人の自分としては衝撃的で面白く、素敵なところだなと思いました。イタリアの人々は人間的にも本当に素晴らしく、知らない人にもフランクに挨拶してくれます。そういう温かみがイタリア人の良さでしょうし、音楽にも反映されていると思います。イタリアのカンツォーネはほとんどが、男性が女性に振られてしまっても「まだ愛しているよ」という内容の歌です。イタリア人男性の気質で、女性に会ったら「こんにちは、綺麗な方ですね」というのを普通に言うんです。それが歌になるのです。そこに住むということはその国のルールがあり厳しさもありましたが、その国の人たちと一緒に文化を感じながら過ごす時間はとても価値のあることだと思いました。

### 演奏だけでなく、大学で教鞭もとられていますね。

私は学生時代に師匠や先生方に教えていただいたことを、自分なりに消化して、自分自身の音楽を作り出していくということをひたすらにやってきました。歌は誰もが歌えますし、声は誰でも出ます。でも、自分の歌を聴いてくださった皆さんが、「癒されました」「元氣になりました」と言ってくださるようになるためには、歌うということの基本的な指導を受けて、それを自分のものにしていくという作業が必要だと思います。自分が先生や先輩から伝えられたことを、次の若い世代に伝えていくことは、私の義務なのだろうと思います、教員になりました。

### 若手やこれから声楽を目指す方にどんなことを伝えていきますか？

歌っている人自身が本当に音楽を楽しんで、その音楽を皆さんにお伝えするというのが1番だと思います。私たちがなぜ皆さんの前で演奏しているかというと、例えば1,200人いたら、その中の1人がその歌で癒されたり、心を動かされたりということがあれば、それだけでも価値があると思うのです。だから、1人の人に向かって思いを伝えるということを大事にしてほしいといつも学生たちに伝えていきます。今の学生たちはコロナ禍の影響もあり、人との関係や、自分の思っていることを言葉で表現することにまだ不慣れな気がします。でも音楽はそこが基本になります。独りよがりのもものでは伝わりません。また、歌には歌詞がついていて、歌詞の世界と作曲家がイメージした音楽の世界の両方をお客様にお届けできます。「聴く」だけではなく、歌手のパフォーマンスも含めて「観る」という要素も加わってきますので、声、表情、仕草など、あらゆるものを使って「表現」をしてほしいです。皆さんと同じ空間で、一緒に気持ちで何かを味わうことができるのが歌のコンサートの1番の楽しみであり、醍醐味だと思います。音楽を通して人に思いを「伝える」ことが、いかに音楽家にとって大切であるかを若い世代にも分かってもらいたいですね。

### 今回のプログラムのオペラアリアについて教えてください。

今回歌わせていただきます「トスカ」、「リゴレット」、「トゥーランドット」は、世界中の歌劇場でトップクラスに上演されているオペラです。

「トゥーランドット」の「誰も寝てはならぬ」というアリアは、トリノオリンピックで荒川静香さんがスケートिंगをして金メダルを取り、それ以来日本で一番有名なオペラアリアになりました。「トゥーランドット」はとてもドラマチックでスペクタクル溢れるオペラで、オーケストラや合唱も大掛かりな曲なのでご覧になれば皆さんハマると思います。「トスカ」は、もともと芝居の作品として有名で、舞台となるローマには物語に出てくるお城や教会が実在しています。オペラの最後は主人公のトスカが、サンタンジェロ城の城壁から身を投げて終わるのですが、今でもローマの有名な観光地になっていて、あそこから飛び降りたのかも！というのを実際に見られるのです。「トスカ」を作曲したプッチーニは、教会の鐘の音を牧師さんに取材をして、オペラのオーケストラの音に取り入れています。オペラの場面と同じ頃の時間に教会に行けば、もしかすると実際に鐘の音が聞こえて来るかも知れません。この時代のイタリアオペラはベリズモオペラ（現実主義オペラ）とも言われ、とてもリアリズムなドラマを積み重ねていく、素晴らしいオペラですね。



びわ湖ホール 沼尻竜典オペラセレクション 歌劇『リゴレット』(2014年10月) 写真提供: 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール

「リゴレット」の「女心の歌」というアリアは、テレビのCMや雑誌等、誰もがどこかで耳にしたことがある曲だと思います。とてもシンプルで色男の典型的な歌です。作曲したヴェルディはこの曲を上演したら絶対に街中に知れ渡ってしまうだろうとわかっていた、初演のリハーサル直前まで歌手にもオーケストラにも、アリアの楽譜を見せなかったそうです。ですが、ゲネプロが終わったらもう街のゴンドラ乗りが歌っていた！それくらい大ヒットした、世界で一番有名なアリアです。

### プログラムには日本歌曲もご紹介しますね。

日本人にとって海外の歌は、訳詞などワンクッション通してからその音楽を聴くこととなりますが、日本歌曲は日本語で直接その方にメッセージが伝わります。音楽と一緒にその詩の素敵さや面白さ、楽しさを直に感じていただけたところが日本歌曲の魅力の1つだと思います。詩を朗読するだけでも素晴らしいのですが、そこに作曲家がイメージする音やハーモニーが付随することにより、世界が何倍にも広がって行きます。「海」という言葉一つにも人それぞれの海があるように、そこに音楽が加わることでさらに広く深いものになるところもまた、大きな魅力ですので、音楽と詩を存分に味わっていただいて、皆様一人一人の思うドラマを感じていただけるといいなと思っています。

### 共演される谷池さんはどのような方でしょうか。

谷池さんは私のデビュー前からご一緒させていただいて、私の音楽を共に作っていただいている方です。谷池さんは私の中の音楽を1番わかってくださっている方なので、例えばその日の調子が良いとか悪いとかを汲み取って下さるし、逆に今日の谷池さんはこんな心持ちかな？と感じながら歌ったりもしますので、お互いの音楽を高め合って行ける存在なのです。阿吽の呼吸と言いますか、私の歌は谷池さんがいて初めて自由になる、無くてはならない存在なのです、その様もお楽しみ頂ければと思います。

### 今後挑戦したいことはありますか？

膨大な数のオペラ各々に面白いので、歌える限りの作品は全て歌ってみたいです。オペラに限らず、同じ曲でも指揮者が違ったり、オーケストラや合唱団が違ったり、ホールが違ったり、お客様が違ったりして、1つとして同じものはなく毎回新鮮です。特にクラシックは、何百年前の1枚の楽譜をあらゆる人がああでもないこうでもないと言って演奏していて、1つの楽譜を愛しむことでまた新しい形が生まれてくるというところが魅力の1つだと思つて、何度も演奏したことがある楽曲に取組む時も、常に新しい気持ちで向き合っています。その方が違った楽しみ方が出てくるかなと思いますし、以前には気付かなかったことを発見して研究していけます。今後も音楽を探索する姿勢を持ち続けたいですね。

### 最後に、公演に向けて一言お願いいたします。

このさくらプラザ・ホールは歌ものにはちょうど良く、特に日本歌曲ではより繊細で柔らかい響きを味わえる楽しみを感じていただければと思います。また、お客様の表情がよく見えますね。お互いの表情が見えることはとてもありがたく、大切だと思つておりますので、ぜひ皆様のいい顔を拝見できればと思つております。ようやくコロナ禍があげましたので、ぜひ会場に足を運んでいただき、アコースティックな生の声や、ピアノの音、そしてこの素敵なホールの響きを直接感じていただきながら、450人しか味わえないその特別感をぜひお楽しみください。

取材・構成/板野 瑞姫



QRコードを読み込むと、福井さんからの公演に向けたメッセージ動画をご覧いただけます。公演HP →

さくらプラザ 開館10周年記念 日本を代表するスーパー・テナー 福井 敬 テノール リサイタル 2023年10月7日(土) 14:00 開演 チケット 好評発売中 福井 敬 (テノール) Kei Fukui 谷池 重袖子 (ピアノ) Etsuko Taniike 武蔵野音楽大学卒業。歌い手の音楽に寄り添うように弾かれるピアノには定評があり、現在第一線で活躍している歌手のリサイタル、オペラ、合唱伴奏及び録音、放送等数多く手掛け、絶対的な信頼を寄せる存在として活躍。また新国立劇場オペラ研修所、東京音楽大学大学院では伴奏者兼コレパティとして、明日の日本オペラ界を担う若手音楽家達を支えています。



開館 10 周年記念公演として開催された前橋汀子さんのリサイタルは、発売日当日から大変多くのお問い合わせをいただき、さくらプラザの約 450 席ある客席をお客様で埋め尽くしました。前橋さんは当館では約 4 年ぶりの演奏で、ご自身もとても楽しみにしてくださっていました。そんな満席で迎えた公演当日の様子をご報告いたします。

前橋さんは以前のインタビューで、「自分の残りの演奏家人生をどのように過ごすかと考えた時に、もっとベートーヴェンの音楽を勉強したいと思うようになった。」とお話をされていました。今回のプログラムでは、第 1 部にそんな想いのこもったベートーヴェンのソナタをさまざまな表現技法を駆使しながら、前橋さんならではの洗練された透明感のある美しい音色で演奏してくださいました。私たち聴衆を一気にベートーヴェンの世界へ引き込み、そこにいる全員が音楽だけに集中し、非常に特別な時間が流れていたように感じます。

休憩を挟み、第 2 部では聴きなじみの深い軽やかで華やかな作品を散りばめたプログラムを楽しませてくださいました。さらに、感染症の影響で中止となった 2020 年度公演時にチケットご購入者様から募集したリクエスト曲も抜粋して取り入れていただき、お客様と一緒に演奏会をつくりあげることができたと思います。ヴァハン・マルディロシアンさんの色彩豊かなピアノの音色と細部まで息の合った演奏で、鳴りやまぬ拍手の中終演いたしました。



お客様から嬉しいメッセージをいただきました

- 前橋さんのすばらしい演奏を堪能しました。
  - 優しく上品で美しい音色、また、力強くエネルギッシュな演奏！本当に素敵でした！
  - ヴァイオリンとピアノの掛け合いが素晴らしかったです。
  - 至福の時間でした。
  - 前半の高尚な曲と後半のエlegantでとろけるような音色に感動しました。ありがとうございました。
- ……など

ご来場いただきありがとうございました。



2022 年度のさくらプラザ特待生の活動は、さくらプラザ主催公演を鑑賞するほか、【ミーティング】やプロの演奏家を招いての【特別講座】を実施いたしました。そして、1 年の活動の終わりには必ず「年度末レポート」を提出していただき、1 年間の振り返りをしています。昨年度のレポートテーマは「2022 年度、自分が一番頑張った文化芸術活動」です。抜粋ではありますが、それぞれのレポートで特待生たちの日頃の芸術活動を覗いてみましょう。

さくらプラザ特待生 年度末レポート 「2022 年度、自分が一番頑張った文化芸術活動」 ※五十音順

飯田 和也さん (シンガーソングライター)

自身初のワンマンライブを約 1 年かけて企画・運営・パフォーマンスまで行いました。この経験を通してイベントを企画する大変さと喜びを実感することが出来たと同時に、多くの方に協力してもらい、周りと連携することで自分だけではできない何かを生み出せる可能性が広がることを学びました。

石橋 真美子さん (ピアノ)

私は昨年度、およそ半年をかけてベートーヴェンのピアノソナタ第 7 番に取り組みました。今まで、ベートーヴェンのピアノソナタは、コンクールの課題曲に選ばれる第一楽章だけを練習していて、全楽章を練習したことがなかったため、とても良い経験を積むことができました。

小嶋 風歌さん (ヴァイオリン)

今年度はミーティングに参加させていただきました。クラシックとは異なる音楽のジャンルで夢を追って頑張っている同年代の方のお話が聞けたり、他大学で他専攻の音楽大学生や、いろんな可能性を秘めた年下の子と出会って会話をするうちに、様々な音楽の触れ合い方、見方があることに気が付き、とても楽しかったです。また、さくらプラザ・ギャラリーで開催した祖母のパッチワーク展示会で、弦楽四重奏を演奏させていただきました。聴きに来てくださるお客様も温かくて、アットホームな環境で演奏することができてとても良かったです。2023 年度は、より多く演奏会に参加し、たくさんの方の芸術に触れたいと思います。

小林 萌香さん (ピアノ)

音楽大学での 1 年目の生活を充実させることを頑張りました。私が音楽大学を志望した理由は、大好きな音楽を学問として学び、音楽が好き仲間と音楽を共有したいからです。伴奏やアンサンブルが好きなので、違う専攻の友達を試験やコンクール、レコーディングの伴奏などを積極的に引き受けました。仲間と意見交換したり、先生に意見を求めたりしながらより良い音楽を作り上げていく過程はとても充実していたと思います。そして、改めて私は伴奏やアンサンブルが大好きだなと感じることができました。

髙田 そよかさん (ピアノ)

昨年度はコロナ前まで高校の音楽科の同級生と毎年行っていた「クラスコンサート」の幹事を務めることに力を入れていました。高校生活を共に過ごしてきた仲間と一緒にコンサートを作りあげることにはやはり楽しく、卒業して一度離れ離れになってもまたひとつに集まるといのはとても貴重な時間でした。これから音楽を通じて仲間とひとつになれるよう、形を変えながら続けていきたいと思っています。

進 絢瑛さん (ピアノ)

今年度は自身のソロ演奏やアンサンブル活動に力を入れました。感染症の対策も緩和され、数年ぶりに福祉施設でのアウトリーチや自主企画コンサートを開催することができました。私自身が感じたクラシック音楽の美しさをお客様にお届けし、「こんな美しい曲目があるんだ！」というご感想をいただき、「音楽を楽しんでいただける時間を共に共有できる大切さ」を改めて実感できた年でもありました。今後は芸術教育にも貢献していきたいと思っています。

難波江 健太さん (ピアノ)

今年度、私はピアノ演奏活動に専念しました。2022 年 4 月にはソロコンサートを開催しました。40 分にわたる演奏は初めてでしたが、とても充実していました。また、今まで弾いていなかったフランツ・リストの作品にも挑戦しました。挑戦した曲で出場したコンクールで奨励賞や審査員特別賞を頂き、受賞者記念コンサートにも出場しました。そして、さくらプラザ特待生ミーティング (公開試演会) にも参加し、演奏前にお客様の前で 1 分程度のスピーチをする貴重な体験をしました。緊張しましたが、今後人前でプレゼンする機会が持てるとういことになりました。来年度は連弾、ショパンの曲に挑戦する予定です。また、特待生ミーティングに積極的に参加し、他の特待生の方とも話してみたいです。

竹澤 遥さん (ピアノ)

今年度から新しくさくらプラザ特待生になりました。この数年は 2020 年から始まった感染症の影響で様々な制限がある中、どうやって音楽をつくらうかと常に模索する日々でした。世間全体の情勢も大きく変わり、私自身も高校を卒業し大学に入学するなど、個人的な環境の変化もありました。その中で改めて感じたことは、「音楽を通して色々な方と繋がりたい」という気持ちでした。自分にできることを少しでもやってみようという思いからさくらプラザ特待生への参加を決意したので、特待生の活動を通してさらに精進したいと思えた 1 年目になりました。来年度は、コンサートを聴きに行く機会をさらに増やしたいです。

◆さくらプラザ特待生とは◆

次代を担う若いアーティストたち。公募により概ね 13 歳から 24 歳までの演奏家・表現者を目指している方を認定し、さくらプラザ主催公演を無料で鑑賞することで、自身の芸術活動に活かしてもらうための事業。将来表現者として区民に還元してもらうことを期待しています。

# WA!育つ!育てる!

小田 直弥

【ふむふむ、WA!】と驚くような、【輪】になって繋がっていくような……。文化芸術と街の視点で【子育て】を考える連載の第2章。さくらプラザにできる地域連携の新たなカタチを一緒に考えていく。文化芸術には何ができるのか!?

## vol.2 談論-新しい取組のアイデア

この連載は、さくらプラザのスタッフさんと私が定期的に対話の場を設け、「教育」をキーワードとして、《さくらプラザが主体となる新たな地域連携の形を模索していく》過程をお届けするものです。新しい取組を考えるには、まずは、これまでに何をしてきたのかを振り返っておくと役に立つでしょう。その後、それらを鳥瞰し、理想（野望）を掲げ、現実的に踏み出せそうで、かつ優先度が高い内容を定め、実際に小さなアクションから起こしていく……といったフローになるでしょうか。ゆえに今回は、スタッフさんとの対話から、さくらプラザのこれまでの取組を振り返ることから始めて、新しい取組に向けたアイデアを探していきます。

「地域連携」、「世代間交流」、「社会的包摂」、これらは市民活動の充実や、まちづくりを支える、地域における文化施設が果たしていくキーワードとして耳にするものです。さくらプラザスタッフさんはこれらをまんべんなく意識された上でも、特に《世代間交流》を意識したイベント企画等を行っているとのこと。その理由として、ベッドタウンとして人気の高い戸塚地域で暮らす人々の層は、若い世代から年配の方まで、幅広い年齢層となっていることが挙げられます。「春の芸術祭」や「オープンデー」は、演奏や展示、ワークショップなど、様々なイベントを通して、利用者・アーティスト・区民間の文化的交流の場として機能することが期待されており、例えばシニア世代の方が出品した作品を孫世代の方が見に来る等、自然な交流も生まれているようです。開館10周年を迎えるにあたりリニューアル実施された「さくらチャレンジプロジェクト」では「世代間の交流を促す芸術文化事業」をテーマに掲げ、同じく開館10周年企画として、さくらプラザの受付前には、来館者よりメッセージを寄せていただけるボード「桜前線」が設置されています。この企画では、さくらプラザの利用者が多世代にわたることを可視化すると同時に、来館者も、「見て」「読んで」「思い出を書く」ことで、世代を超えて《つながる》きっかけになっています。



「文化芸術に年齢は関係ない」、これを信念の1つとして、世代

間をつなぐ、多様なプログラムを企画されているとのこと。「切り絵のワークショップで80代の方がお越しくださったり、0歳だから音楽は楽しめない、ということもないはず……」、特定の年代に特化した企画開発よりも、人をつなぎ、地域をつなぐ《文化芸術の可能性》を根底にもち、それを今日における社会的、地域的コンテキストと重ね合わせながら企画開発・実施をしていくことで、利用者やアーティスト、地域の方に、新たな生活の彩り、豊かさ、拡がりを提供していくことを大切にしている旨が挙げられました。

さて、《世代間交流》や《つながる》、《文化芸術の可能性》といったキーワードが浮かび上がってきました。今年で開館10周年を迎えたさくらプラザが、これからどういった方向に向かっていきたいのか、スタッフさんの想いは一致していました。従来の文化施設は、施設が主体となり、良質な文化芸術を発信する役割を担っていた一方で、今日では、地域の方や活動団体、アーティスト、学校や企業の方といった地域で生活・活動する全員がともに手を取り、協働して文化芸術を育てていく方向に向かっています。「地域活性化」も言われる中、さくらプラザは、戸塚地域における文化芸術の拠点として、《コーディネーターの役割》を果たしていきたいとのことでした。

さくらプラザにおける催しを見ると、音楽だけでなく、落語や美術、写真、川柳、ダンス、演劇、お笑い、つまみ細工、いけばな、ハワイアンキルト……等、幅広い文化芸術に触れられる機会があることが分かりますが、言葉を変えると、戸塚地域にはそうした地域人材がいる、と見ることもできます。地域の力で育んだ文化芸術を、求める人たちへ届けていく、これはまさにコーディネーターに期待される役割にならうと思いますが、「教育」をキーワードとする本連載で引き続き掘り下げて考えていきたいこととして、1つ、具体的なアイデアが挙がりました。それは、学校と地域人材をつなぐ《アウトリーチ》活動です。続きは次号にて……。



### 小田 直弥

弘前大学教育学部音楽教育講座助教(ピアノ研究室)。東京学芸大学子ども未来研究所学術フェロー。「合唱×教育」の実践的研究を行う「合唱団よびごえ」の代表。ヤマハ株式会社によるエジプト国初等教育への日本型音楽教育導入事業に参加している他、「きかんしゃトーマス」を非認知能力の観点から検証した株式会社ソニー・クリエイティブプロダクツとの共同研究の実施、「きかんしゃトーマス」でつなげる 非認知能力子育てブック(東京書籍)等がある。



ユーザーズ・ヴォイス

# User's Voice

Vol.3  
あつちみかこ  
厚地 美香子さん



認定NPO法人あっちこっち プロフィール

2011年、芸術で社会貢献を考え実行する市民団体として横浜で発足。クラシック音楽家、美術家、ダンサーなど社会貢献活動を共に行う若手アーティストが50名以上登録。東日本大震災被災地、熊本地震被災地にてカフェコンサート等を8年間に累計200回以上開催。現在は学校、介護施設、地域コミュニティ、文化施設、子どもホスピス等にも活動を広げ、毎年50回前後のコンサートやワークショップなどのイベントを開催。第9回かながわ子ども・子育て支援大賞特別賞受賞。2021年内閣府より子ども・若者育成支援部門の活動に対して「内閣府特命担当大臣表彰」を受ける。

さくらプラザをご利用いただいている団体の方の声をお届けする「User's Voice」のコーナー。2023年は、さくらプラザ開館10周年を迎えるにあたって、地域連携協定を交わしている団体の皆様から特別なメッセージをいただきました。第3回目は認定NPO法人あっちこっち理事長 厚地 美香子さんからのメッセージです!

### 1 10周年を迎えるさくらプラザにメッセージをお願いします!

この度は開館10周年おめでとうございます。初めてホールに足を踏み入れたとき、木のあたたかみが溢れ、名前のおりに絨毯や椅子などにも桜の模様を見つけたりして、「わあ」と歓声をあげたことを覚えています。ほっと憩えるような空間が持つ力に、スタッフはもちろん、これまでの出演者やお客さまにも好評です。またホールとつながっているガラス張りのリハーサル室も色んな使い方ができて創作意欲が増します。企画事業も色んな観点からアプローチされていて、今までたくさん楽しみましたがこれから先の10年も楽しみにしています。

### 2 さくらプラザでの思い出を教えてください!

開館当時から大変お世話になっていて、私たちが次に行くステージには寄り添ってくださいました。2015年度より「地域連携協定団体」として戸塚のお子さんたちに向けてワークショップ制作を行う際には、たくさんご支援をいただきました。何度か「子どものためのわくわくワークショップシリーズ」をホールで開催し

た際には、リハーサル室で美術ワークショップ、楽屋の通路を通ってホールに入る演出など、色んな提案に寄り添ってくださいました。またコロナ禍でのホールやロビーを使った映像制作もさくらプラザの皆様がたくさんアドバイスをいただきました。心から御礼申し上げます。

### 3 今後、さくらプラザと取り組んでみたいことなどありましたら教えてください。

芸術ホールという空間が持つ力は偉大で、そこから受け取る力を取り入れた企画をこれからも一緒にしたいです。そして、どんな状況にある子どもたちにも芸術が体験できる場を作っていきたいと考えています。きっと本物の芸術に触れることで将来の選択技が変わったり、また影響を受けることがあるかもしれません。今後も地域の芸術文化を活性化できるよう、相互に連携した活動に取り組みたいです。これからもどうぞよろしくお祈りいたします!



人は皆 背中を語る… 其之 六十

ミカエリトツカジン

## 見返戸塚人

戸塚の魅力あふれる方々をご紹介します。

きささばらいろ 喫茶薔薇色

パティシエ 梁佳妮さん 陳焯赫さん

「私たちのスイーツで薔薇色の人生を！」

に帰ったのでいろいろなお店のスイーツを食べてみました。今の中国では健康を求める人が多いようで、砂糖をあまり入れず甘くないものが流行っているんですよ。

—まずはお店についてお聞かせください。

2021年11月にオープンしました。もっと早くに開業する予定だったのですが、ちょうどコロナ禍になってしまい一旦時機を待っていたんです。もともと(陳さんの)母の希望もありカラオケ屋がメインだったので、スイーツはテイクアウトする方が多かったですね。デリバリーは多いと1日に20~30件注文が入ります。店名の由来は、母が好きな言葉「バラ色の人生」から取りました。カラオケや美味しいスイーツを楽しみながら皆で幸せになれるようなお店にしたいです。現在カラオケは予約制に変更しInstagramでも予約の有無をお知らせしているので、その時間帯を外していただければスイーツだけを楽しんでいただけます。

—スイーツのこだわりを教えてください。

まずは材料にこだわることで、それから一番新鮮な状態でお客様に提供すること、現状に満足せずに常に勉強を続けることです。できる限り旬の食材を使いたいので、ケーキはだいたい1週間、パフェは1か月半くらいでメニューを入れ替えています。毎週、毎月お越しいただいても楽しんでいただけたらと思います。ほんの一部ですが、Instagramにも写真をアップしています!

—お客さまとの印象的なエピソードはありますか?

オープンからずっとお越しいただいている常連の方には、「クリームが柔らかすぎる」等、よくアドバイスをいただいています。いくら私たちが勉強してもお客さまに受け入れてもらえなければ意味がないですよ。お客さまとの距離が近いという関係性を大事にしていますので、ぜひみなさんの感想をお聞かせください。

—読者の皆さまに一言お願いします!

梁さん:喫茶薔薇色のスイーツで皆さんに喜んでいただけたら嬉しいです。「平戸のスイーツといえばここ!」と評判になるくらいに頑張ります。陳さん:ふたりですと勉強を続けながら作ってきたお店です。これらのもっと美味しく提供できるように頑張りたいです。

戸塚人に逢いに行こう!

きささばらいろ 喫茶薔薇色

営業時間 13:00 ~ 17:30 / 18:30 ~ 22:30

水木定休

横浜市戸塚区平戸 2-15-5 (神奈バス 山谷より徒歩約5分)

電話 045-410-9042

Instagramアカウント: @kissa.barairo



次号の戸塚人は……? この後ろ姿から何処のどなただろうと想像してみてください。次号では見返りポーズでお顔を公開します!

さくらプラザ開館10周年記念

日本を代表するスーパー・テナー  
**福井 敬 テノール リサイタル**

福井 敬 (テノール)、谷池 重袖子 (ピアノ)

全席指定  
 一般 4,000円 / 横浜市民 3,500円  
 EX (聴聴券・見切れ席) 2,000円 / 学生 1,500円

10/7(土)  
 14:00開演 休憩あり

会場 ホール



**鈴木 理恵子 (Vn)& 若林 顕 (Pf)**  
 デュオ・リサイタル

鈴木 理恵子 (ヴァイオリン)、若林 顕 (ピアノ)

全席指定  
 一般 3,000円 / 横浜市民 2,700円  
 学生 1,000円

電話予約開始 9/15(金)14:00~  
 12/23(土) 14:00開演 休憩あり

会場 ホール



©Wataru NISHIDA

©Burkhard Schebe

主催

開催決定!  
**春の芸術祭**

さくらプラザ利用団体・アーティスト・区民…アートに漏れる3日間

参加募集

ホール  
 出演

ホール・ギャラリー・マルシェ

まもなく参加団体募集開始!

※詳細は9月中旬公開予定。

2024年2/16(金)・17(土)・18(日)

マルシェ  
 出店

ギャラリー  
 展示



らららん♪ドレミ シリーズ Vol.23  
**0歳からのコンサートデビュー!**

なおちゃんと一緒に!  
 みんなでうたってあそぼ!



全席指定 ※0~2歳の膝上鑑賞は無料  
 大人(中学生~)1,500円  
 子ども(0歳~小学生)500円  
 電話予約開始 10/12(木)14:00~  
 12/9(土) 11:00開演

会場 ホール



名曲サロン シリーズ Vol.38  
**中山 結菜 ピアノコンサート**  
 中山 結菜 (ピアノ)

全席指定 一般 1,500円  
 電話予約開始  
 10/17(火)14:00~  
 2024年1/13(土)  
 14:00開演

会場 ホール



©ONDA.photo

共催

下記共催公演のチケットはさくらプラザでは窓口のみ取扱い

横浜 JAZZ PROMENADE 2023 新規企画  
 横浜東西南北4区民文化センター連携キャラバン  
**レクチャーコンサート『ジャズピアノのふるさと』**

小針 俊郎 (解説/横浜JAZZ協会)  
 田中 和音 (ピアノ)、佐瀬 正 (ベース)

全席自由 1,500円  
 主催:横浜JAZZ PROMENADE実行委員会  
 9/17(日) 14:00開演

会場 リハーサル室



Produced by the Bell Net

**シカゴ交響楽団プラス・クインテット【横浜公演】**

シカゴ交響楽団プラス・クインテット

全席指定 一般 6,500円  
 横浜市民 6,000円 / 学生 3,000円  
 主催:一般社団法人愛知室内オーケストラ  
 パシフィック・コンサート・マネジメント

10/9(月・祝) 14:00開演

会場 ホール



©David Taylor

コンセール・アミティエ

**第53回 音楽サロン plus** ~皆さんと一緒に~

吉府 充希子 (ソプラノ)、木村 雄太 (リトーン)、中村 舞香 (ピアノ)  
 全席自由 各回前売り1,000円 / 当日1,200円  
 主催:コンセール・アミティエ

9/26(火) ①10:45開演 ②14:15開演

会場 リハーサル室



コンセール・アミティエ

**第54回 音楽サロン plus** ~皆さんと一緒に~

吉府 充希子 (ソプラノ)、小泉 ユミ (チェロ)、北川 恭子 (ピアノ)  
 全席自由 各回前売り1,000円 / 当日1,200円  
 チケット発売開始 9/27(水)9:00~ ※第53回会場にて参加  
 主催:コンセール・アミティエ 者限定先行販売あり。

11/28(火) ①10:45開演 ②14:15開演

会場 リハーサル室



Vol.62

9・10月号

2023.9.1発行

編集後記

食欲の秋がやってきました! いえ、芸術の秋がやってきました! いやいやスポーツの秋でしょう! 読書でしょう! 毎年、違う意味でもしっかり実りの秋にしたい、と思う後記担当なのでした。(食べた分はしっかり実っています。) 秋も充実した毎日を過ごしましょう。

(山上)



TEL: 045-866-2501 FAX: 045-866-2502



〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町16-17戸塚区総合庁舎 4F



event@totsuka.hall-info.jp



https://totsuka.hall-info.jp

さくらプラザ

検索

※通信料が発生します。



10周年からその先へ  
 戸塚区民文化センター さくらプラザ